

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

科目	現代の国語	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必修）	
目標	多彩な内容に亘る論理的文章や実用的文章の読解、要約、及び意見発表や交換等を通して、知的な視野を広げると共に、課題の発見、理解、考察、表現、討議、等の過程について自立的な思考、処理能力を養い、社会的諸活動に主体的に参加するための資質、能力を育成する。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、課題文を細部までの確に読解できると共に、要約、表現能力を使いこなし、他者に対して明瞭に伝わる内容にまとめることが出来た。	支援なしで、課題文の概要を理解し、論旨や主張について、効果的にまとめることが出来た。	支援を得ながら、課題文の概要を理解し、論旨や主張についても理解し気付けた。	課題文の概要理解が曖昧で、論旨や主張についても十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について高度な意見をまとめ、多様な方法を使いこなし、的確に表現することが出来た。	支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について自分なりの意見をまとめ、効果的に表現することが出来た。	支援を得ながら、課題文の論旨や主張、論理の構成について理解し、自分なりの意見表現をした。	課題文の論旨や主張、論理の構成について十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、処理能力を使いこなし課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、効果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた諸課題に取り組み、課題解決が果たせた	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「現代の国語」筑摩書房 ・「キーワード漢字2700」浜島書店 ・「新訂版力をつける現代文ステップ2」数研出版 ・「新訂総合国語便覧」第一学習社
--

◇3 授業の方法・学び方

教科書所収の文章を元に講義と演習を行う。段落構成の把握、各段落の要旨、表現技法等の基本的な読解を踏まえて、各自の意見を構成したり、集団内での意見交換に取り組んだりすることもある。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・小テストなど	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・小テストなど	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	課題テスト・小テスト 提出物・授業への取り組みなど	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【第1章 問うこと、語ること】サイエンスの視点、アートの視点（齋藤亜矢） 【第2章 評論文への招待】デジタル社会（黒崎政男） 【第2章 評論文への招待】ことばとは何か（内田樹）など	○	○	○	26
2学期	【第3章 ことばで伝える思いと考え】身体、この遠きもの（鷲田清一） 【第5章 話し合いから議論へ】誰かの靴を履いてみること（ブレイディみかこ） 【第6章 根拠から主張へ】マルジャーナの知恵（岩井克人） 【第9章 主張の論理的な伝え方】主体という物語（小坂井敏晶）など	○	○	○	26
3学期	【第8章 表現のみがき方】贅沢の条件（山田登世子） 【第10章 複眼的な視点】開かれた文化（岡真理）など	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

科目	言語文化	履修学年・1学年	教科担当
		3単位（必履修）	
目標	日本の言語文化への理解を深め、特徴的語句や表現技法を理解し、豊かな心や表現力を育成する。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、日本の言語特有の語句や表現の技法の知識を使いこなし、作品を正確に読み味わい、言語文化の価値を理解することができた。	支援なしで、日本の言語特有の語句や表現の技法の知識を、効果的に活用し、作品を読み味わい、言語文化の特徴を理解することができた。	支援を得ながら、日本の言語特有の語句や表現の技法の知識を活用して作品を正確に読み理解し気付けた。	日本の言語文化特有の語句や表現の技法について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、継承されてきたものの見方、考え方を捉え、言語文化の知識を使いこなし自分の考えを優れた表現でまとめることができた。	支援なしで、言語文化の中で継承されてきたものの見方、考え方を理解し自分の考えを効果的な表現でまとめることができた。	支援を得ながら、言語文化の中で継承されてきたものの見方、考え方を理解し、自分の考えを表現した。	言語文化の中で継承されてきたものの見方、考え方を十分に理解できず、自分の考えを表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、主体的に課題に取り組み、集団活動では他者と協力して自他の考えを引き出してそれを使いこなし考えを深めることができる。	支援なしで、課題に取り組み、集団活動では効果的に他者と協力して意見を出し合い、課題を達成して自分の役割を果たせた。	支援を得ながら課題に取り組み、集団活動において他者の立場を察して手を貸し、自分の役割を果たせた。	課題への取り組みが十分ではなく、集団活動において他者の立場を察して自分の役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「精選言語文化」第一学習社 ・「四訂版「古文単語 315」桐原書店 ・「改訂三版 完全マスター古典文法」第一学習社 ・「五訂版 漢文必携」桐原書店
--

◇3 授業の方法・学び方

<p>古典を正しく読解するために、基礎となる古典文法、作品の時代背景、生活、風習、ものの考え方などを学びながら、優れた古典作品から近現代の文学作品を読み味わう。</p>
--

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・小テストなど	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・小テストなど	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	小テスト・提出物など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	日本文学編ー近現代 【小説（一）】羅生門 【小説（二）】夢十夜 日本文学編ー古文 【古文入門】古文の学習	○	○	○	39
2学期	【古文入門】児のそら寝 【歌物語】伊勢物語 【随筆（一）】枕草子 漢文学編 【漢文入門】漢文の学習、訓読に親しむ 【故事成語】漁夫之利、狐借虎威	○	○	○	39
3学期	【軍記物語】平家物語 【和歌・俳諧】万葉集、古今和歌集、新古今和歌集 【漢詩】唐詩の世界	○	○	○	27

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

科目	地理総合	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、現代世界の地理に関わる諸事象について、様々な情報を地理的な技能を使いこなして効果的に活用し理解することができた。	支援なしで、現代世界の地理に関わる諸事象について効果的に整理しまとめることができた。	支援を得ながら、現代世界の地理に関わる諸事象について理解し気付けた。	現代世界の地理に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、地理的な課題を把握し、地図情報などを使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、地理的な課題を理解し、効果的に説明することができた。	支援を得ながら、地理的な課題を理解し、表現した。	説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、地理的な諸事象について、深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとすることができた。	支援なしで、地理的な諸事象について効果的に課題を追究、解決しようとした。	支援を得ながら、地理的な諸事象について課題を追究、解決しようとした。	地理的な諸事象について課題を追究、解決しようとすることができなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「地理総合」山川出版社 ・地図帳「新詳高等地図」帝国書院 ・「新詳地理資料COMPLETE」帝国書院 ・「地理総合ワークブック」山川出版社 ・各自用意するもの（色鉛筆・マーカー等）
--

◇ 3 授業の方法・学び方

世界の地理に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。
--

◇ 4 どのように評価されるか

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・発表・授業時の観察 提出物等記述 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・発表・授業時の観察 提出物等記述 など	5割
態	関心・表現力・伝達・協働性	小テストへの取組・提出物等への記述・発表に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【地図と地理的環境】 球面上の世界と地図、GIS 世界の中の日本の位置と領域 自然環境、地形と生活文化 自然環境、気候と生活文化	○	○	○	26
2学期	【地理的環境と世界の生活文化】 自然環境、気候と生活文化 気候や産業と生活文化 宗教・言語と生活文化 経済統合と生活文化	○	○	○	26
3学期	【世界の生活文化や地球的環境問題と諸課題】 各地域の生活文化と地理的な環境とのかかわり、経済発展 地球的な課題と持続可能な社会 日本の自然環境と防災	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

科目	数学 I	履修学年・1 学年	教科担当
		3 単位（必履修）	
目標	数学 I における基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。	支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題をかいつくねるために活用することができた。	支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付けた。	公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用し、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。	支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。	数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなして自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる。	支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。	支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。	日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

・教科書「数学 I」数研出版 改訂版 ・副教材「4 STEP 数学 I + A」数研出版 改訂版 「チャート式 基礎からの数学 I + A」数研出版 改訂版 ・プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの（ノート等）

◇ 3 授業の方法・学び方

一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・授業時の観察 ノート等記述 など	6 割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・授業時の観察 ノート等記述 など	4 割
態	協働力	課題提出物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	/

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【数と式】 整式の加法・減法・乗法、因数分解、実数、絶対値、平方根の計算、1次不等式 【集合と命題】 命題と条件、命題と証明 【2次関数】 関数・グラフ・定義域と値域、2次関数とグラフ、平方完成と放物線の平行移動、グラフの移動	○	○	○	3 9
2 学期	【2次関数】 2次関数の最大値・最小値、2次関数の決定、2次方程式と判別式、グラフと2次方程式、グラフと2次不等式、絶対値を含む関数のグラフ 【図形と計量】 三角比の定義、三角比の相互関係、三角比の拡張、正弦定理、余弦定理	○	○	○	3 9
3 学期	【図形と計量】 三角形の面積、空間図形への応用 【データの分析】 データの代表値、データの散らばりと四分位数、分散と標準偏差、データの相関、仮説検定の考え方	○	○	○	2 7

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

科目	数学 A	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	場合の数と確率、図形の性質また整数の性質について理解させ基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識させるようにするとともに、それらを活用する態度を育成する。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、日常生活の中で物事を数学的に捉え、場合の数や確率を使いこなすことができた。	支援なしで、日常生活の中で物事を数学的に捉え、効果的に場合の数や確率を活用することができた。	支援を得ながら、日常生活の事象を場合の数や確率と結びつけて理解し気付けた。	日常生活の事象を場合の数や確率とむすびつけて十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、生活の中の事象を数学的に捉え、図形の性質などを使いこなすことができた。	支援なしで、生活の中の事象を数学的に捉え、効果的に図形の性質などを活用することができた。	支援を得ながら、生活の中の事象を数学的に捉え、図形の性質などとして理解し表現した。	生活の中の事象を数学的に捉え、図形の性など質として十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、課題に対峙し、数学的な方法を使いこなして課題を解決することができる	支援なしで、課題に対峙し、数学的な方法を使いこなして効果的に処理することができた。	支援を得ながら、課題に対峙し、数学的な処理を果たせた。	課題に対峙し、数学的な処理を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> 教科書「数学A」数研出版 改訂版 副教材「4STEP 数学I+A」数研出版 改訂版 「チャート式 基礎からの数学I+A」数研出版 改訂版 プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの(ノート等)
--

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。</p>
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題テスト・授業時の観察・ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題テスト・授業時の観察・ノート等記述 など	4割
態	協働力	課題テスト・小テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【場合の数と確率】 ・場合の数 ・確率	○	○	○	26
2学期	【場合の数と確率】 ・確率 【平面図形】 ・平面図形 ・空間図形	○	○	○	26
3学期	【数学と人間の活動】 ・整数の性質	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 理科(物理)

科目	物理基礎	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	自然科学の物理分野についての素養を深め、自然界に起こる現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解できる自然観を育成する。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、数学的知識を活用し自然現象の法則性を発見するプロセスを使いこなし、新たな別の問題でもまとめることができた	支援なしで、数学的知識を活用し自然現象の法則性について、効果的に整理しまとめることができた	支援を得ながら、数学的知識を活用し自然現象についての法則性を理解し気付けた	自然現象についての法則性を十分に理解し気付けなかった
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、自然現象の法則性や知識を使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、自然現象の法則性や知識を理解し効果的に説明することができた	支援を得ながら、自然現象の法則性や知識を理解し表現した。	自然現象の法則性や知識を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなし別的事象にも対応することができる	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「物理基礎」 第一学習社 ・「プログレス 物理基礎 新課程」 第一学習社

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>身近な自然現象の仕組みや法則性について、講義や実験を行う。現象における法則性を理解するとともに、数学的知識をもとに説明できることを講義で学習する。実験では基礎的な知識を利用し協同的な学びを通して主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。</p>
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 など	5割
態	協働力	定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【波動】 波の性質 音 【運動とエネルギー】 運動の表し方（等速直線運動 等加速度直線運動）	○	○	○	26
2学期	【運動とエネルギー】 合成速度 相対速度 落体の運動) 運動の法則（力 運動の3法則 運動方程式） 仕事と力学的エネルギー(仕事、運動エネルギー 位置エネルギー)	○	○	○	26
3学期	【運動とエネルギー】 仕事と力学的エネルギー（力学的エネルギーの保存則） 【熱】 熱とエネルギー	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 理科(生物)

科目	生物基礎	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	自然科学の生物分野についての素養を深め、代謝、生殖、進化などの生命活動を科学的な考え方に基づいて理解し、説明できるような生命観を育成する。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、知識を使いこなし、別の問題にも適用して考えることができた	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、効果的に整理しまとめることができた	支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し気付けた	生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解し気付けなかった
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ知識を使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。	支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ効果的に説明することができた	支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し表現した。	生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなし別的事象にも対応することができる	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「改訂生物基礎」 東京書籍 ・「2026 新課程版 セミナー 生物基礎」 第一学習社 ・二訂版「新課程版 スクエア 最新図説生物」 第一学習社

◇ 3 授業の方法・学び方

各単元の初めにグループワークや実験を行い、協同的な学びを通して主体的に創意工夫や探究を行う力や表現力を育て、それらを通じてその単元の主題をイメージ化し、問題意識を形成する。次に講義や演習を通じて、知識や考え方を整理し生命現象に対応する科学的な概念の形成・定着を図る。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・確認テスト など	5割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・確認テスト など	5割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実験レポート・グループワークの課題作成・確認テスト など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【生物の特徴】 生物の多様性と共通性（生物の多様性 生物の共通性 細胞の特徴） 生物とエネルギー（生態とATP 生体内の化学反応 呼吸と光合成）	○	○	○	26
2学期	【遺伝子とその働き】 遺伝情報とDNA（生物と遺伝子 DANの構造 DNAの複製） 遺伝情報とタンパク質（DNAとタンパク質の合成 細胞分化と遺伝子） 【ヒトの体の調節】 体内環境と遺伝情報（体内環境 神経系とホルモン） 免疫のはたらき	○	○	○	26
3学期	【生物の多様性と生態系】 植生と遷移（植生と環境 植生の遷移 バイオーム） 生態系と生物の多様性（生物間の関係 擾乱 生態系の保全）	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 保健体育科

科目	体育	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康安全について理解し、技能を身に付ける。 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断するとともに、他者に伝える。 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育む。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を使いこなし、運動の多様性や体力の必要性について、技能を身に付け理解することができた。	支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を行い、効果的に技能を身に付け理解することができた。	支援を得ながら、運動の特性や技能、健康安全について理解し気付けた。	運動の特性や技能、健康安全について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力判断力表現力	支援なしで、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を使いこなし、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。	支援なしで、運動や健康の課題を発見し、効果的で合理的、計画的な解決方法し、自己の考えたことを他者に伝えることができた。	支援を得ながら、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を理解し表現した。	運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力人間性	支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して公正に取り組み、それを使いこなし自分の役割や責任を果たすことができた。	支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して効果的に関り、自分の役割を見つけ責任を果たすことができた。	支援を得ながら、運動における競争や協働の場面において自分の役割を果たせた。	運動における競争や協働の場面において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> 教科書「現代高等保健体育 改訂版」大修館書店 プリント教材 学習端末
--

◇3 授業の方法・学び方

運動理論と併せ、基礎的な技能と戦術を学習する。ペアやグループでの活動を中心に、他者と協力して課題の発見や問題解決を目指す。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	実技テスト・授業時の観察・ノート等記述 など	/
思	創造力・表現力 発信力	実技テスト・授業時の観察・ノート等記述 など	
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	授業時の観察・ノート等記述・授業に臨む姿勢 など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【陸上競技（短距離走・リレー）】 クラウチングスタート、バトンパス 【球技（ネット型・ゴール型）】 基本的技術の定着、ゲーム、ルールの理解・審判 【体育理論】スポーツの発祥と発展	○	○	○	26
2学期	【水泳】 泳法（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ）、スタート、ターン 【球技（ネット型・ゴール型）】 基本的技術の定着、ゲーム、ルールの理解・審判 【ダンス（現代的なリズムのダンス）】【体づくり運動】各種トレーニングの立案・実践	○	○	○	26
3学期	【陸上競技（長距離走）】 ペース走、ラップタイムの計測、ロードレース大会（記録会） 【球技】 球技大会に向けたグループ活動	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 保健体育科

科目	保健	履修学年・1学年	教科担当
		1単位（必修）	
目標	現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深め、他者に伝えることで主体的に学習に参加する態度を育む。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、個人及び社会生活における課題や情報について使いこなし、健康を支える環境づくりと関連付けてまとめることができた。	支援なしで、個人及び社会生活における課題や情報について、健康や安全に関する原則や概念に着目して効果的に捉えることができた。	支援を得ながら、個人及び社会生活における課題や情報について理解し気付けた。	個人及び社会生活における課題や情報について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、様々な表現やデータに基づいた分析方法を使いこなし、個人及び社会生活における課題解決にむけて発表することができた。	支援なしで、様々な表現やデータに基づいた分析方法を用い、効果的で工夫した表現ができた。	支援を得ながら、個人及び社会生活における課題を理解し表現した。	説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、ペア・グループ活動を察して協力して取り組み、それを使いこなし発表したり対応したりすることができる。	支援なしで、ペア・グループ活動において相手の立場を察して効果的に発言やサポートをし、貢献して役割を果たせた。	支援を得ながら、ペア・グループ活動において自分の役割を果たせた。	ペア・グループ活動において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> 教科書「現代高等保健体育 改訂版」大修館書店 プリント教材 学習端末
--

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>小中学校までの基礎的な知識をベースに、個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深める。課題の発見と解決に向けた対話を行いまとめ、発表する形式をとる。また、実習を通して技能を獲得する。</p>
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・＜領域＞ 等	知	思	態	配当時間
1学期	【2単元 安全な社会生活】 事故の現状と発生要因、交通における安全、応急手当・心肺蘇生法 【1単元 現代社会と健康】 健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた	○	○	○	13
2学期	【1単元 現代社会と健康】 生活習慣病、がん、運動、食事、休養・睡眠、喫煙、飲酒 薬物乱用、精神疾患、感染症・性感染症・エイズ、健康に関する意思決定・行動選択	○	○	○	13
3学期	【1単元 現代社会と健康】 【2単元 安全な社会生活】 ・グループ発表形式	○	○	○	9

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 芸術（音楽）科

科目	音楽 I	履修学年・1 学年	教科担当
		2 単位（必履修）	
目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。また音楽・芸術に関する素養を身に付け、豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、音楽に関する知識や、音楽表現に必要な技能を使いこなし、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わることができた。	支援なしで、音楽に関する知識・技能の理解を深め効果的に応用し、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わることができた。	支援を得ながら、音楽に関する知識、多様な音楽表現について理解し気付いた。	音楽に関する知識、多様な音楽表現について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、多様な音楽の表現方法を使いこなし、柔軟で説得力のある自己表現を行い、周囲に良い影響を与えることができた。	支援なしで、説得力のある音楽表現を理解し、効果的で工夫した自己表現ができた。	支援を得ながら、説得力のある音楽表現を理解し、表現した。	説得力のある音楽表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなして別の事象や個人活動にも対応することができる。	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「MOUSA1」 教育芸術社 ・補助教材「3訂版 高校生のための音楽研究ノート」 教育芸術社 ・タブレット PC ・プリント教材
--

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>合唱・独唱・器楽演奏・鑑賞・創作などについて、実践を中心に授業を行う。楽典については、問題演習を交えながら知識の定着を図る。他者と協力して取り組み、様々な音楽表現を学んでいきましょう。</p>

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	実技テスト・筆記テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
思	創造力・表現力 発信力	実技テスト・筆記テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
態	協働力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【歌唱】 発声の基本、音感、和声感の基礎作り、校歌、日本歌曲、混声四部合唱 【鑑賞】 混声四部合唱の響き 【楽典】 音名（基礎）、楽譜の書法、音符と休符の長さ	○	○	○	26
2 学期	【歌唱】 イタリア歌曲、ドイツ歌曲 【器楽】 ギターの弾き方、コードのおさえかた、楽曲演奏 【鑑賞】 バレエ、オーケストラの楽器 【創作】 作曲 【楽典】 音程、三和音	○	○	○	26
3 学期	【器楽】 箏の演奏	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 芸術（美術）科

科目	美術 I	履修学年・1 学年	教科担当
		2 単位（必履修）	
目標	造形活動を通し創造的な見方・思考を働かせ、イメージを視覚化する表現方法を学ぶ。 生活や社会の中の芸術文化の流れを理解し、自ら深く関わる資質・能力の育成を目指す。 デザインにおける計画性・色感・表現力を培う。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、表現方法や、知識を体得し制作プロセスで使いこなし、個性的に作品に反映する事が出来た。	支援なしで、表現方法や知識を体得し効果的に制作に取り入れることができた。	支援を得ながら、表現方法や知識を活用し、制作を通し必要性を理解し気付けた。	表現方法や知識を十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、多様な表現の技術を使いこなし計画性を持ち制作に取り組み作品を完成出来た。自分のイメージの美しさを十分に伝えられた。	支援なしで、多様な表現の技術を理解し効果的で充実した制作ができた。	支援を得ながら、多様な表現方法を理解出来た。	課題内容を理解せず制作の手法が少なく雑で、作品は未完成、もしくは未提出、表現方法も十分に理解できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、前向きに制作に取り組み、技術や知識を使いこなし周囲と協力し集団活動におき自他ともに充実した時間を築くことが出来た。	支援なしで、制作に集中し、片付けをきちんとして効果的に集団活動の充実を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において与えられた役割を果たせた。	授業姿勢が消極的で、集団活動において、授業に集中せず与えられた役割を十分に果たそうとしなかった

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「美術 I」光村図書 ・プリント教材・ファイル・スケッチブック・学習端末 ・各自用意するもの（絵の具セット・彫刻刀・色鉛筆等）

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>ファイルでのワークシートや、スケッチブック等作品を創る中で、様々な表現方法を体験し、美術の物の見方・考え方を習得する。スライドで美術史を学びながら、歴史・社会の観点から文化を考察する。</p>

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・知識と能力 実践力	実技制作・課題制作物・授業参加姿勢 ワークシート記述など	6 割
思	創造力・表現力 発信力	実技制作・課題作品・授業参加姿勢 ワークシート記述など	4 割
態	協働力	授業参加姿勢 授業に臨む姿勢など	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【色彩と表現】 想像スケッチ・色相環・3原色混色による抽象表現・花の着彩・デッサン 【デザイン】 プッシュステンドによる窓飾りのデザイン 【鑑賞】 豊かな色の世界・装飾の歴史―世紀末からジャポニズムまで	○	○	○	2 6
2 学期	【木彫】 木彫の制作（宝箱 or お盆） 【鑑賞】 日本美術を紹介しよう 歴史・社会的背景から作品を考える スライド―近代日本美術の流れ 【絵画】 鉛筆デッサン	○	○	○	2 6
3 学期	【絵画】 想像画を描こう 【鑑賞】 現代美術の鑑賞 ―表現の中の自由―世界の様々な作品の鑑賞	○	○	○	1 8

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 芸術（書道）科

科目	書道 I	履修学年・1 学年	教科担当
		2 単位（必履修）	
目標	書の基礎的な表現や鑑賞の能力を伸ばし、生活や社会の中で効果的に活用できる資質・能力を育成するとともに書の伝統と文化についての理解を深める。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、書の伝統や文化に基づく効果的な書表現の技能を使いこなし、生活や社会における文字や書と豊かに関わることができた。	支援なしで、書の伝統や文化に基づく書表現の技能について、効果的に活用し、生活や社会における文字や書と関わることができた。	支援を得ながら、書の伝統や文化に基づく書表現について理解し気付くことができた。	書の伝統や文化に基づく書表現について十分に理解し気付くことができなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、書のよさや美しさを感じ、書を構成する要素と相互に関連させて書表現の技能を使いこなし、自らの思いや意図に基づく表現を工夫することができた。	支援なしで、自らの思いや意図に基づく表現を理解し効果的に工夫した表現を果たすことができた。	支援を得ながら、自らの思いや意図に基づく表現の工夫を理解し表現することができた。	自らの思いや意図に基づく表現の工夫を十分に理解できず表現することができなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで他者と協働し、発展的な学びに向かい自己調整する力を使いこなし的確な改善点に気付き、主体的に取り組むことができた。	支援なしで、他者と協働し、発展的な学びに向かい他者の指摘する改善点を効果的に取り入れ、自分に与えられた役割を果たすことができた。	支援を得ながら、発展的な学びに向かい他者の指摘する改善点を取り入れ、自分に与えられた役割を果たすことができた。	発展的な学びに向かい他者の指摘する改善点を取り入れ、自分に与えられた役割を十分に果たそうとすることができなかった。

◇ 2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「書道 I」東京書籍出版 ・プリント教材 ・書道用具 ・各自用意するもの（書道ノート・B4 鉛筆・のり）
--

◇ 3 授業の方法・学び方

<p>伝統や文化に基づく芸術としての書の表現と鑑賞について、講義や実技により習得し、それらを創作作品や生活の中で活用・探求する形態となる。漢字仮名交じりの書では共同制作を予定している。</p>
--

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力、実践力	プリントによる課題、制作過程表および完成作品、授業時の観察、ノート等記述など	4 割
思	創造力・表現力 発信力	プリントによる課題、制作過程表および完成作品、授業時の観察、ノート等記述など	6 割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	制作過程表、自己および相互批評内容、授業時の観察、ノート等記述・作品に取り組む姿勢など	/

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1 学期	【漢字の書～基礎・基本】 書体の変遷、基本線質、筆圧と速さの関係、始筆の角度による線質の変化 【漢字の書～楷書】 表現の多様性（背勢と向勢）、イメージ書創作、生活に生かす	○	○	○	2 6
2 学期	【漢字の書～楷書、行書】 古典の鑑賞と探求（グループ）、行書の基本、古典の鑑賞と表現（渴筆の運筆法）、生活に生かす 【仮名の書】 仮名の歴史、古筆の鑑賞、単体と連綿、変体仮名の活用法、	○	○	○	2 6
3 学期	【仮名の書】 仮名創作（自選俳句の表現） 【漢字仮名交じりの書】 創作法、言葉の決定、作品のねらいと構成・書風の決定、試書→批評→互評会→完成 【学習の振り返り】	○	○	○	1 8

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

科目	英語コミュニケーションⅠ	履修学年・1学年	教科担当
		4単位（必履修）	
目標	様々な英語を読み聞きして内容を理解し、自分の考えを書いたり話したりできる能力を養う。 英語を使い積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、英文を正しく理解することができる。単語や文法を理解し使いこなし、英文を要約したり自分の考えを論理的にまとめることができる。	支援なしで、英文を理解することができる。単語や文法を効果的に用いて英文の要約ができる。	支援を得ながら、必要な文法や単語の意味を理解し、英文を理解することができる。	英文を読むのに必要な文法や単語の意味を十分に理解せず英文を正しく理解できない。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし表現することができる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを効果的に英語を用いて表現することができる。	支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを表現できる。	設問や課題に対する自分の課題に対する自分の考えを英語で十分に表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を果たせた。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

・教科書「ENRICH LEARNING English Communication I」東京書籍 ・副教材「ターゲット1900」旺文社/「英文速読ドリル」Z会/「Listening laboratory Basic β」数研出版/「Cutting Edge Green」エミル出版/「Approach to SDGs 1」旺文社/「SDGs 英語長文 Core」三省堂/「Garden 英語総合問題集 course B」桐原書店/「Kwaidan」文栄堂「AFTER TWENTY YEARS」文栄堂「The Gift of the Magi」文栄堂「The Blue Diamond」数研出版「Les Misérables」数研出版「The Wizard of Oz」数研出版 「スタディサプリ English」リクルート（アプリ）
--

◇3 授業の方法・学び方

教科書、副教材の英文を読んで要約し、相手に英語で説明したりしながら、4技能の育成を行う。JETとのTTも定期的に設ける。その他アプリを使用し4技能の自学自習も可能にしている。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察など	4割
態	協働力	実技テスト・課題制作物・授業時の観察・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【ENRICH】 Unit1～Unit4 【ターゲット1900/1000】週1回の割合でテスト 【スタディサプリ English】英検準2級・2級【Approach to SDGs 1】Chapter 1～4 【SDGs 英語長文 Core】Unit 1～8 【Garden course B】Unit 1～9 【Listening laboratory Basic β】Unit 1～8 【Kwaidan】【AFTER TWENTY YEARS】多読演習	○	○	○	52
2学期	【ENRICH】 Unit 5～Unit 8 【ターゲット1900/1000】週1回の割合でテスト 【スタディサプリ English】英検準2級・2級【Approach to SDGs 1】Chapter 5～8 【SDGs 英語長文 Core】Unit 10～15 【Garden course B】Unit 10～15 【Listening laboratory Basic β】Unit 9～16 【The Gift of the Magi】【The Blue Diamond】多読演習	○	○	○	52
3学期	【Cutting Edge Green】Unit1～Unit5【ターゲット1900/1000】週1回の割合でテスト 【スタディサプリ English】英検準2級・2級【Approach to SDGs 1】Chapter 9・10 【SDGs 英語長文 Core】Unit 16～17 【Listening laboratory Basic β】Unit 17～20 【Les Misérables】【The Wizard of Oz】多読演習	○	○	○	36

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

科目	論理・表現Ⅰ	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	日常的な話題について、自らが得た情報や自らの意見を、正しい英語表現で論理的に伝える能力と態度を養う。そのために必要な英語のきまりや特徴を理解し、正しく英文を作れる能力を育成する。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを論理的に表現できる。	支援なしで、英文を作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を効果的に用いて情報や自分の考えを表現できる。	支援を得ながら、必要な英語のきまりや特徴を理解し、英文を作ることができる。	英文を作るのに必要な英語のきまりや特徴を十分に理解せず正しい英文を作れない。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし、要点や意図を明確にしなが論理的に表現することができる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、内容を整理した上で効果的に英語で表現できる。	支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを英語で表現できる。	設問や課題に対する自分の考えを英語で十分に表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、果的に課題解決を果たせた。	支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を果たせた。	与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「FACTBOOKⅠ」 桐原書店 ・副教材 「Skyward Extensive English Skills in 48 Lessons」 桐原書店 「Skyward Extensive English Skills Workbook」 「Skyward 総合英語」

◇3 授業の方法・学び方

教科書の表現を参考に、毎時間英語で話したり書いたりする活動を行う。その際生徒たちにAIを利用させながら、自分で添削までさせ、自分の表現力の幅を広げさせる。また、表現に必要な文法の問題演習は自学自習を中心に行う。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・課題テスト	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・課題テスト	4割
態	協働力	課題制作物・提出物・課題テスト	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【FACTBOOKⅠ】Unit 1~4 【Skyward Extensive English Skills in 48 Lessons】Lesson 1~Lesson 15 【Skyward Extensive English Skills Workbook】Lesson 1~Lesson 15	○	○	○	26
2学期	【FACTBOOKⅠ】Unit 5~8 【Skyward Extensive English Skills in 48 Lessons】Lesson 16~ Lesson 30 【Skyward Extensive English Skills Workbook】Lesson 16~ Lesson 30	○	○	○	26
3学期	【FACTBOOKⅠ】Unit 9~10 【Skyward Extensive English Skills in 48 Lessons】Lesson 31~Lesson 48 【Skyward Extensive English Skills Workbook】Lesson 31~Lesson 48	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 情報科

科目	情報Ⅰ	履修学年・1学年	教科担当
		2単位（必履修）	
目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。		

◇1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用Ⅱ	レベル3 A 活用Ⅰ	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識技能	支援なしで、情報技術を活用し現代社会の諸問題を発見するプロセスを使いこなし、斬新な視点で別の問題でもまとめることができた。	支援なしで、情報技術を活用し現代社会の諸問題について、効果的に意見を整理しまとめることができた。	支援を得ながら、情報技術を活用し現代社会の諸問題について理解し気付けた。	情報技術を活用し現代社会の諸問題について十分に理解し気付けなかった。
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、多様な表現方法を使いこなし柔軟で説得力のある自己表現を行い、周囲に良い影響を与えることができた。	支援なしで、説得力のある自己表現を理解し効果的で工夫した表現ができた。	支援を得ながら、説得力のある自己表現を理解し表現した。	説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなして別の事象にも対応することができる。	支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。	集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。

◇2 教科書・使用教材等

<ul style="list-style-type: none"> 教科書「最新情報Ⅰ 新訂版」実教出版 補助教材「進研 WINSTEP 情報Ⅰ」Learn-S プリント教材（電子）

◇3 授業の方法・学び方

<p>実社会における情報技術の仕組みなどについて、講義と実習を行う。基礎的な情報の知識・技術をベースに、主体的に創意工夫を行ながら、新たな技術や多様な表現方法を学ぶ。</p>

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	6割
思	創造力・表現力 発信力	定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など	4割
態	協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性	実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など	

◇5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	【情報社会の問題解決】 情報モラル・知的財産・個人情報の保護と管理・サイバー犯罪・問題解決 【情報のデジタル化とコンピュータ】 情報のデジタル表現・コンピュータの仕組みと動作 【コミュニケーションと情報デザイン】 情報デザインの実践	○	○	○	26
2学期	【データの活用とシミュレーション】 データの活用・モデル化とシミュレーション 【アルゴリズムとプログラミング】 アルゴリズム・プログラミング	○	○	○	26
3学期	【情報通信ネットワークとセキュリティ】 情報通信ネットワーク・情報セキュリティ・情報システム 【コミュニケーションと情報デザイン】 メディアとコミュニケーション・情報デザイン	○	○	○	18

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 総合的な探究の時間

科目	総合的な探究の時間	履修学年・1学年	教科担当
		1単位（必履修）	
目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 試行錯誤を楽しむことを経験する。		

◇ 1 観点評価と目標

	レベル4 S 活用II	レベル3 A 活用I	レベル2 B 習得	レベル1 C 習得不十分
(知) 知識 技能	支援なしで、個人端末を使いこなしデータ処理や発表資料を適切にまた美しく作ることができた。	支援なしで、個人端末を利用し効果的にデータ処理や発表資料を作成することが出来た	支援を得ながら、個人端末を利用しデータ処理や発表資料を作成することに理解し気付けた	個人端末を使用したデータ処理や発表資料の作成が十分に理解し気付けなかった
(思) 思考力 判断力 表現力	支援なしで、論文やビッグデータなど参考資料を使いこなし計画的に調査や実験を行い考察を導くことができた	支援なしで、論文やビッグデータなどの参考資料を利用し効果的に調査や実験を行い考察を導くことができた	支援を得ながら、参考資料を利用して調査や実験を行うことを理解して、考察を導くことができた。	参考資料を利用して調査や実験を行うことを十分に理解できず考察を導くことが出来なかった
(態) 学びに向かう力 人間性	支援なしで、他者と共に意欲的に探究活動に取り組み、それを使いこなし研究の発展性を得ることができた	支援なし他者とともに意欲的に探究活動に取り組み、効果的に研究を遂行することを果たせた	支援を得ながら、他者とともに意欲的に探究活動に取り組み、研究を遂行することを果たせた	意欲に欠け、研究の実施を十分に果たそうとしなかった

◇ 2 教科書・使用教材等

ゼミ講師等が作成した資料

◇ 3 授業の方法・学び方

グループ研究ではメンバーと一緒に探究を楽しんでください。個人研究では突飛なアイデアを意識してください。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

観点	資質・能力（グランドデザイン）	評価の方法	定期考査の配点割合
知	論理的思考力・基礎知識と能力 実践力	発表資料、発表の評価	5割
思	創造力・表現力 発信力	発表資料、発表の評価	5割
態	協働力	発表資料、発表の評価	

◇ 5 授業計画の目安

学期	【単元】・指導内容・<領域> 等	知	思	態	配当時間
1学期	グループ研究「地域創生」課題の設定、フィールドワーク 災害救援活動	○	○	○	13
2学期	グループ研究「地域創生」アイデアの検証、発表会 実地調査 社会教育の推進	○	○	○	13
3学期	個人研究のテーマを考える 福祉体験活動	○	○	○	9